

廣 報 費

支日	内 容	金 額 (円)	印 記
H30 3月4日	会派広報紙制作・配布	590,079	①
	計	590,079 円	

合 計	590,079 円
-----	-----------

請求書

NO.

〒745-0071

山口県周南市岐山通1-1
周南市役所 市議会事務局

六合会 御中

株式会社 新周南新聞社

〒745-0802

周南市栗屋二葉屋開作1035-18
代表取締役社長 中島 進

フリーダイヤル 0120-494-689

TEL 0834-26-0303

FAX 0834-26-0155

＜振込の際のお願い＞

振込手数料は貴社ご負担にてお願い申し上げます。

お振込みの際に、請求書の宛名とお支払い名義が異なる場合は、当社経理までご連絡ください。

今回御請求額

590,079

お支払予定日

2018/03/31

月日	伝票番号	商 品 名	数 量	単 価	御 買 上 額	御 入 金 額
02/20	000644	六合会会報 制作印刷一式	36,000	7.2	259,200	
		朝日・読売折込	32,020	8.4	268,968	
		朝日・読売折込 送料分	1	3,202.0	3,202	
		日刊新周南折込	3,000	5.0	15,000	
		伝票小計(税抜き) 546,370 円	8 %	消費税等	43,709	
					合 計	590,079

上記の通り御請求申し上げます。

貼

付

票

領収書
①

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	[Redacted]				請求払込 料金加入 日付
	[Redacted]				
加入者名	株式会社新周南新聞社				
金額	千	百	十	万	千
	9	7	5	9	0
二 依頼人	周南市岐山通1-1 周南市議会 六合会様				
料 金	日 附 印				
	30-03-09 新南陽開作 郵便局				
備 考	(55358) N94240004				

記載事項を訂正した場合は、その箇所印を押しつけてください。

この受領証は、大切に保管してください。



藤井康弘の主張

【「しゅうニャン市」プロジェクト】

周南市は、昨年1月から、シティプロモーション事業として「しゅうニャン市プロジェクト」を開始し「しゅうニャン市」を市の愛称として全国発信しています。

私は無類の猫好きなので個人的には大変面白いと思っておりますが、多くの市民が「しゅうニャン市」に拒否反応を示していることは疑いようのない事実です。

それは ①特定の愛護動物をシンボライズしたことに伴う理屈抜きの好き嫌いの感情 ②市名を言葉遊びの対象にすることについての倫理観 ③周南市と猫に特段のエピソードがある訳ではないことによる違和感などに由来し、1年経っても状況に変化はありません。

もちろん、政治家は、たとえ多くの市民が反対しても正しいと思う政策は断固実行しなければなりません。しかし、しゅうニャン市プロジェクトのようなシティプロモーション事業は、正しい政策かどうかは市民の大半が賛成しているか否かで決まるという特殊性を有しています。

【シティプロモーション事業の目的は何か】

シティプロモーション事業は、都市間競争が激化する中で人や企業が「選ばれるまち」となるには、生活環境整備や産業振興といった実体的な施策によって市の魅力を高めるだけでなく、市の魅力を的確に伝える施策が不可欠であるという認識に基づいて行われる戦略的な広報活動です。

従って、その直接的な目的は、周南市の魅力を市外にPRして知名度を高めて、移住者や企業進出を増やすことです。

しかし、シティプロモーション事業には実はもっと奥深い目的があります。それは、市をあげて周南市の魅力を発信しようという運動に取り組むことによって、市民自らが周南市の魅力を再認識して周南市に対する愛着と誇りを深めることです。それが、市民のまちづくりへの積極的な参加や若者の定着や将来のUターンに繋がります。

従って「しゅうニャン市」のような斬新な発想で全国的な注目を集めて周南市の知名度を上げることには成功しても、肝心の市民の共感を得ることができないならシティプロモーション事業としては成功とは言えないのです。

【どうすべきか「しゅうニャン市」】

私は、昨年の3月議会で、しゅうニャン市プロジェクト関係の支出予算を含む当初予算に対して、既に市がプロジェクトを華々しく開始しており、議会が強制的に終了させると周南市のイメージダウンになると考え賛成しましたが、討論の中で、市民や議会にこれだけの反対がある以上、早期に事業を見直し補正予算で関係経費の大幅な減額をすべきと主張しました。

しかし、周南市の知名度を高めるためには生半可なことではだめだという市長の信念は想像以上に強固で、しゅうニャン市プロジェクトは計画通り進められて1年が過ぎようとしています。

しかし、1年経っても大多数の市民がしゅうニャン市を好意的に受け入れるという状況にはなっていない以上、このまま市がシティプロモーション事業としてプロジェクトを執行することは妥当ではないと告げざるを得ません。ただ、プロジェクトに協賛している市民や企業も少なからず存在していることを考慮すれば、一定の経過措置は必要です。

そこで、私は「しゅうニャン市」プロジェクトについては、市の対外的な知名度アップのための副次的施策と位置付け、市が直接行うことは止めて民間の有志団体にその展開を委ね、一定期間は市がその経費を助成していくという形にするのが「善い」と考えます。

そして、本来的なシティプロモーション事業については、企画の段階から市民を巻き込んで、市民の大半が納得するものを新たに立ち上げるべきです。市長の勇気ある戦略的転換を強く期待して本稿を書きます。

りくごうかい 周南市議会 六合会 会報 (創刊号)

vol.01
平成30年2月発行



平成29年6月、参輝会(青木義雄・長嶺敏昭・福田文治)と静林会(福田健吾・佐々木照彦・藤井康弘)が合併、周南市議会最大党派「六合会」を設立し、下記の綱領の基、新たな活動を開始しました。

〈六合会綱領〉

- 1 我々は、地方再生が叫ばれる時代に、地域の代弁者としてだけでなく、市民と共に積極的に参画型行政に関わり、周南市の未来を創造していく。
- 2 我々は、「是々非々」を理念としながらも、車の両輪に例えられる議会と行政は周南市のため、市民のためにベクトルを同じくするよう、より良い提言を続ける政策集団を目指す。
- 3 我々は、いつまでも輝きを失うことなく、それぞれの個性を尊重し、市民からも市職員からも慕われる爽やかな議員活動に徹し、議員の範となるよう精進していく。
- 4 我々は、「六合会」結成の初心を忘れることなく、志高く研鑽を積み、仲間を大切に、何事も相談できる環境の構築に努め、信頼の輪を広げていく。

福田 健吾 (代表) 青木 義雄 (副代表) 佐々木照彦
長嶺 敏昭 福田 文治 藤井 康弘

※「六合」とは、天地と東西南北の六極、すなわち全宇宙の意味であり、たまたま6名でのスタートとなりましたが、決して完結的な党派でなく、志に共感する者に門戸は大きく開かれています。



【市長に予算要望書提出】

平成29年10月30日、新年度予算編成に先立って、平成30年度予算に係る六合会としての要望を取りまとめ、以下に掲げる事項を内容とする予算要望書を木村市長に提出しました。

1. 鶴ヶ浜駅トイレの水流化。
2. 枥・大島地区の公共交通網の整備。
3. 陸上競技場の整備着手。
4. 徳山駅周辺だけでなく、新南陽駅周辺も地域交通拠点としての支援策創設。
5. 公園の樹木剪定予算の拡充。
6. 遠石一の井手線及び遠石一丁目交差点の拡幅と雨水対策。
7. 大津島巡航刈尾待合所の改修。
8. 福川南地区における雨水排水対策事業の早期実現。
9. 本陣川氾濫の恒久的対策の研究の実施。
10. 福川駅周辺の一体的整備と同地区の買い物弱者対策。
11. 新南陽ふれあいセンターの女子トイレの洋式化。
12. 都市計画道路の廃止に伴い生じる関係地区の諸問題の洗い出しと早期の問題解決。
13. 今後の北都地区のコミュニティ交通の整備を見据えて、交通結節点となる須々万地区に新たな複合型公共施設整備の検討。
14. 市道補修工事補助金及び法定外公共物への原材料支給の上限額の見直し等、自治会による市道以外の生活道の補修工事に対する補助制度の拡充。
15. 鹿野総合体育館の長寿命化のための本格的な屋根改修と音響設備の改修及びトイレの洋式化。
16. 大向小学校体育館の屋根の長寿命化。
17. 過疎債は時限立法であることから早急に、鹿野総合支所の、文化ホール及び山口銀行鹿野支店との、公共施設再配置の理念に基づく複合的整備を。
18. 鹿野総合支所移転後の跡地は、漢陽寺・清流通り・天神山公園と一体となった観光交流の拠点に。

福田けんごの想い

はじめに…

最初に、六合会の代表として、市民の皆様にご挨拶をさせていただきます。我々6名は、それまでの参事会と幹事会に分かれて各々が「政策第一の小さくても存在感のある会派」として1年間活動してきました。しかし、政治力学の中で理想の政策を実現するにはやはり一定の数の力が必要であるとの認識を共有するところとなり、周南市議会最大会派「六合会」を昨年6月に結成するに至りました。



六合会結成後は、表記の綱領を基に前掲の要望書を市長に提出するなど「チームワークと個の尊重」をモットーに活動してきました。そして、これからも、さらに会派の力と議員個々の力の向上に努め、周南市発展のために力を結集して働く覚悟です。市民の皆様のご理解とご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

一これまで以上に高いコスト意識を—

(新庁舎の駐車場について)

市役所に用車のある方は無料、それ以外の方は2時間は無料、その後は有料にする。ゲートを設置して新庁舎の駐車場の管理をする。必要な予算として7年間リースで年間約1,300万円が必要であるとのことでした。

た。(私の想い……)

用務のための駐車場スペース確保にゲートを設置することには一定の理解は出来ます。しかし、駐車場料金の収入が年間700万円弱の見込みのため、年間600万円程度の新たな支出となることはどうなのか。これまで無料で開放してきた無秩序に駐車されることが多かったことだが、新庁舎になって一定の期間様子を見てからでも遅くはない、そしてゲートを設置すると経費が必要になりますよと広く市民に公表し、駐車場のモラルを訴える方が先ではないかと私は考えます。

また、駐車場の利用者の受益者負担は当然だが、600万円程度の新たな支出は駐車場を利用しない全ての市民からの税金も使用されます。利用収入もあくまでも見込みであり2時間以内の駐車が主となり料金収入が見込めないのではと懸念します。

制度設計をするにあたって、高いコスト意識をもつてすればまずは市民のモラルに訴えることが一番お金のかからない方法であるため、安易にゲート設置という考えになるのは行政としてどうなのだろうか。

周南市の財政状況は、以前にも増して厳しくなっています。一つ一つの事業に高いコスト意識を持ち、可能な限り低コストで実行実現して行くことが求められます。そのためのあらゆる手法を立案時には考えなければなりません。

未来の責任を果たすために今後もしっかり取り組んでいきます。

—3月定例会市議会では—

3月の定例会では会派質問が行われました。

六合会として初めてのことでありますが各議員の想いがこもった質問になると、思います。「チームワークと個の尊重」、まさに発揮されます。

昨年度、大きな議論を巻き起こしたシティプロモーション事業をはじめ、多くの施策が提案されます。一つ一つの事業を先に述べたとおり、高いコスト意識を持って議論していきます。



「チームワークと個の尊重」



青木義雄のまちづくり

歴史観をまちづくりに

History 1 瀬戸内海を制する者が日本を制する

歴史観とは「歴史的世界の構造やその変化・発展についての一つの体系的見解」(大辞林)「歴史の見方を決めるもの、ある観点から事実を解釈するときの前提となる統一的な観念」(日本大百科)とあります。歴史の事実からあるものを選び出す選択基準・価値観は当然ながら人によって異なります。歴史をどう見るかは自由であり、個人的なものです。それはその人の人生観、社会観、道徳観、文化観などに通じるものです。

昨年12月定例会の一般質問で、私は自身の歴史観を述べながら、周南市のまちづくりが今後どうあるべきかについて議論しました。私は「瀬戸内海を制する者が日本を制する」これが極めて稀な地理的条件を有する日本の歴史の最大の特徴であると思っています。(詳細は一般質問の折に述べましたが、長文になるので割愛します)その瀬戸内海にあって、徳山港は西の玄関口の関門海峡から見て最初の天然の良港です。日本海と豊後水道の先にある太平洋に通じる海の要路です。戦前の海軍燃料所や回航基地の設置、戦艦大和最後の寄港地、そして戦後の石油化学コンビナートの構築など全て必然です。海と港の立地を最大限活用して今日の周南市は発展してきました。

そして現状や課題を並べますと

- ・ 昨年第1回「周南みなとまつり」の開催
- ・ フェリーターミナルの整備(事業)
- ・ 大津島航路、大分県航路の維持対策
- ・ 新庁舎建設にともない空いた港庁舎の活用
- ・ 徳山港は2022年開港100周年
- ・ 徳山駅南口の整備が平成32年に完了
- ・ 水産市場の老朽化と今後の方向性
- ・ 工場夜景、親水公園の活用

港と直結する徳山駅は「のぞみ」が16本停車する新幹線と在来線(山陽本線と岩徳線)が重なり、リニエール中の徳山動物園、文化会館までの都心軸を形成し、さらには本年2月には周南市立徳山駅前図書館が開館しました。

あらゆる条件や課題が集中しています。総合的に戦略的に「みなとまちづくり」の方向性を示す必要性を強く主張しました。

History 2 周防国(すおうのくに)

近代において、明治国家は薩長豊厚果や富国強兵・文明開化を推し進め、国の形を大きく転換しました。長年続いた封建制は崩壊し、猛烈な変化と遷徙で変革を成し遂げて、世界の中で存在感を示しました。日露戦争の勝利で、当時の主流であった帝国主義社会の列強に名乗りを上げましたが、それは太平洋戦争の敗北で終焉しました。私は日本海海戦の勝利で始まり、ミッドウェイ海戦の敗北で終わったと思います。

「海で始まり海で終わる」日本の宿命です。さて、これからの周南市です。長州藩は薩長豊厚果で山口県になりました。長州藩は長門国と周防国の2か国から成り立っていました。国持大名といひ、これは毛利家をはじめとして前田家・島津家・伊達家など18家に限られていました。周防国は7世紀すでに登場しています。その枠組は江戸時代まで脈々と続いてきたのです。現在の防府市から岩国市にかけてのエリアです。

昨年12月定例会の一般質問で、岩国市との連携を取り上げました。その必要性を強く訴えましたが、その先には周南市を中心とした「周防国経済圏構想」があります。その時にはまだこの構想には全く触れていませんが、どこかのタイミングでこの「周防国経済圏構想」を提唱したいと思っています。

佐々木照彦の市政報告

議員活動も2年目に入り、とにかく元気な地域、元気な周南市をつくるということに常に念頭に置いて取り組んでいます。

29年度の3回の定例会において

6月定例会 ①学校教育のさらなる充実に向けて

9月定例会 ①消防の運営について

12月定例会 ①犯罪被害者等支援について

②水産物の消費拡大について

③徳山下松港の振興について

④大津島の振興、活性化の取り組みについて

以上を一般質問で取り上げました。

様々な提言や質問がありますが、ここでは3点について述べます。

【保育施設利用選考基準について】

保育施設の利用について平成29年度から利用調整を私立保育所を含む全ての保育施設について、市で利用調整を行うこととした。当然、周南市は待機児童ゼロではあるが、すべての人が希望する保育施設に入られる訳ではない。その利用基準において、地域性に対する考慮、兄弟姉妹が別々の施設利用となってしまう問題を提起した。

この質問や保育施設、保護者の意見などにより、結果として30年度の申し込みから兄弟姉妹に対する基準と保育士に対する基準に加点されることとなりました。

【学生消防団活動認証制度について】

消防の業務が多岐にわたり、地域の防災力の低下が懸念される中で、消防団組織の充実強化に向けて大學生等による学生消防団員制度と学生消防団員活動認証制度を合わせて導入を訴えました。全国的には26年から導入されたところですが、県内では山口市に次ぐものだと思います。

この制度を導入することにより、消防団員の確保、将来の地域防災の担い手として期待されます。この制度により来年度は11名の学生消防団員が誕生するということです。

【公園の整備など】

その他にも学校教育では、2学期制の導入や運動会の春季実施、学用品のリユースなどを取り上げました。28年の一般質問や予算に対する要望で毎回、公園の樹木剪定予算の拡充を訴えています。29年度予算から少しずつ改善が見られています。その中でも徳石緑地の樹木の剪定がなされ、以前よりも明るく見通しが少し良くなりました。思い続けることが必要です。地域の安全安心、特に子供たちの安全により注視していきたいと思っています。



(徳石緑地)

2月には徳山駅前図書館がオープンし、9月からは市議会も新庁舎での開催となります。「仏作って魂入れず」ではないけません。公民館の市民センターへの移行、公共施設の再配置など多くの課題がありますが、各々の地域が元気になり、周南市がより活性化されるよう、私は私の立場で努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



長嶺敏昭の関心事

平成も30年となり、来年には今上天皇陛下が退位され、今年中には、混乱を回避するため、新元号が事前発表されることと、昭和半ば生まれの私にとっても「昭和は遠くなりにけり」と、いつの日か嘆息することになるかも知れません。今回、「六合会」初の会派だよりは、会派内でも小事は、色々な意見もあることを承知いただき、私が、日頃から市民の皆様と接する中で、拾い上げていく幾つかの事や関心事を持っている事を挙げましたので、ご意見を、お聞かせ下さい。

●公共工事の入札、受注に限りが多く、燐原の火のごとく不審、不満が広がっている。公正に受注の平等化をするために、対策を断行する必要がある。

入札は適正な競争の中で受注するものですが、特定の業者が半ば強制的に受注していると聞きます。公共工事は地域の経済対策の側面もあり、寡占はいいかと思いますが、宇部市は、市発注の別の手持ち工事を抱えていると入札に参加できないという、手持ち工事制限制度を採用しています。また、「宇部市建設工事等発注事務に関するコンプライアンス要項」を定め、職員と業者、議員等との接触を透明化、厳格化しています。周南市は入札、契約に疑心暗鬼が渦巻いている実態を看過することなく、直ちに是正するべきです。市長が語る「和して同せず」一辺倒では真の世間の声は聞かれないのではないのでしょうか。

●公共施設の再配置は、市長が権限力、柔軟性を発揮し、自らが進めざるを得ない方向と決断力を示せ。施設の廃止、または複合化には地域の様々な考えがあるのは当然ですが、再配置の基本理念は総量抑制、複合化です。これは市長、副市長など中核が踏得に当たらなければなりません。権限のない担当職員任せで苦しめることなく、執行時期に柔軟性を持たせるなど地域が納得できるように、自らが支援策、優柔寛容を示すべきです。

●「もういいでしょう!徳山中心部集約投資」周辺部の心算な暮らしへのシフトチェンジを。周南市立徳山駅前図書館(ブック&カフェ)が竣工しました。大型投資であり、その後の指定管理料の負担等により財政には少なからず影響があります。仮に拠点的な賑わいは創出できても周南市全体の経済が動かなければ存在意義が限定されます。秋には新庁舎が完成します。徳山は見込みには大きく変わりますし、楽しみでもありません。しかし、周辺部に暮らす市民には、これらの施設は利便性など直接的な恩恵は少ないと思われ、向かややっている街、などをキーワードに観光交流で交流人口増を目指す。季節が感じられる街、便利なお店、向かややっている街、などをキーワードに観光交流で交流人口増を目指す。季節が感じられる販売などの起業を促したいものです。例えば、歴史や自然に独特な観光資源がある鹿野地区は、鹿野地区のみ活用ができる有利な起便「過疎債」の発行で観光交流による持続可能性を深め、思い切って仕掛けて欲しいものです。多くの住民もそれを願っています。

●水産物市場の民営化を決定して、民間活力で駅南、港付近の活性化、税収増に取り組み。築港町のフェリーターミナルは県事業で徳山がポートビルが整備されますが、駅南の活性化を図るには隣接する水産物市場を民営化し、新たな可能性に着目しましょう。現状、担当職員を配置し公営で運営している意味が希薄です。関連する用地を払い下げ、民間による水産物関連の商業施設が張り付けば、税収にもつながり、他市に負けない活気のある港周辺になると思います。多少の抵抗があっても、行財政改革は「待つ」のではなく、積極的な取組が必要です。

●「地域の夢プラン」確定と共に、高齢化が進む地域の医療・看護・介護の連携で生まれ育った地域で人生の終末期までも安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」の構築を急ぐ必要がある。鹿野地区コミュニティでは、地域医療とまちづくりを「夢プラン」の柱の1つにするべく医師、医学生、看護学生とも交流を続けてきており、今年には地域包括ケアシステムの鹿野版を構築するため、全戸にアンケート調査を予定しています。地域医療、看護、介護、さらには看取りにも関心を持つ鹿野国保診療所の常駐医師確保と訪問看護ステーションの開設が、地域の持続可能性の肝となる観点です。都市部から遠く離れた地域でも信頼される医療体制を確立したいと活動しています。鹿野地域の熱心な取り組みを理解し、支援策が欲しいものです。

福田文治の市政報告



新徳山駅ビル完成
待ちに待った周南市立徳山駅前図書館が2月3日にオープンしました。多額の投資、運営費をかけての、中心市街地活性化の起爆剤となるべき複施設です。

問題はこれからです。多くの利用者を如何に街中、観光地に足を運ばせたいの創出が図れるか、本市の中心市街地整備部をはじめ高工振興課、観光交流課、商工会議所をはじめとし「まちづくり会社」、民間企業が構成員である「周南市中心市街地活性化協議会」、商店街等が一体となって本気で取り組むことが必須である。中心市街地活性化対策特別委員会では今年度中に協議会等関係者との委員会協議会(ミニコン)を開催する予定です。

シティープロモーション事業「しゅうニャン市」について
シティープロモーションの目的は何か

29年度の施政方針、新年度予算案で私はシティープロモーション事業「しゅうニャン市」は成功すると思うのかと質疑しました。

答弁では「目的は自治体の知名度を向上し交流人口や移住定住人口の拡大、地域住民が地域にどれだけ愛着と誇りを持つか、シビックプライドの醸成を目指す」とのこと。

発端は一昨年4月1日市長が発表した「しゅうニャン市」がSNSでの検索数が膨大で、PR効果の実績は初めてであり戦略性が備わっている証拠であるとのこと。

どんな「まち」を目指すのか? 「ネコ」のようにのびのびと居心地良く暮らせるまち」とのこと。(山口県1位の工場出荷額を築きあげた先人は何を思うか?)

質疑、事業費2,530万1千円あれば公共施設の和式トイレの様式化を急ぐべきではないか。「子育てするな」周南市なら出産後の赤ちゃんと、紙おむつに少しでも補助すべきではないか。答弁、しゅうニャン市をブランド化し継続して取り組む、効果を上げるためには戦略的に、かつ集中的、効果的に行う。中途半端な取り組みは無駄な投資になる。決して税の無駄遣いではない効果の見える投資である。

事業費を予算費に組み替える修正案に賛成しました。STOPLOOK
予算案で私は以下3点をしました。

- Ⅰ グリラ豪雨が頻発して起こるなか、本陣川氾濫の恒久的対策、研究の実施。
- Ⅱ 徳山駅周辺の整備が進むなか、近隣駅周辺の整備と高齢者の買い物対応で福川駅周辺の一体整備と当該地区の買い物弱者対策。
- Ⅲ 市民要望の多かった新南ふれあいセンター女性トイレの増設。

29年度一般質問(主なもの)

公共施設再配置計画の推進に伴い不要となる公の施設が増えるが、負の財産として将来に先送りすることなく市民のために売却を含み有効活用すべきではないか。

1,500人強の市職員、毎年約500人が人事異動している。人事異動の目的は何か、市民サービスの向上と組織の機能アップは図られているのか。

公立保育園民営化 第1号

わかやま保育園(定員90名) 4月1日にオープン!

園児の元気な声で地域も活力をもらっています。子どもたちに感謝!感謝!

